

「いのちの食べかた」

森 達也著 理論社

(K648モ・Y648モ)

毎日食べている「肉」はどんなふうにも食卓に届くの？から始まって「知ること」「知って考えること」について考える。

知ってください、大切なこと

「戦争はなぜ起こるか」佐藤忠男著 ポプラ社

(K319サ・Y319サ)

戦争はなぜ起こるのか？戦争をなくすためにその原因を考える。

「普通の国になりましょう」

C・ダグラス・スミス著

大月書店 (K319ラ)

「普通」というコトバ、よく使うけれども、どういう意味だろう？平均的なこと？理屈にかなっていること？正常なこと？では「普通の国」ってどんな国のこと？

「小型武器よ さらば」柳瀬房子文 小学館

(K319ヤ)

子供たちが銃をもたされ、他人の命を奪えと命令されるということが今も世界で起きている。「もうひとつの大量破壊兵器」である小型武器についてわかりやすく説明。

「シークレット・カメラ」メンデル・グロスマン写真 フランク・ダバ・スミス文 BL出版

(K316グ・316. 8グ)

第二次大戦中、ユダヤ人カメラマンが密かに撮り続けていたゲットー内の写真集。

「知らせる」ことに命をかけた人々がいる。

「ぼくたち・わたしたちの地球温暖化問題」ローリー・ディヴィッド、カンブリア・ゴードン著

小学館 (K451デ)

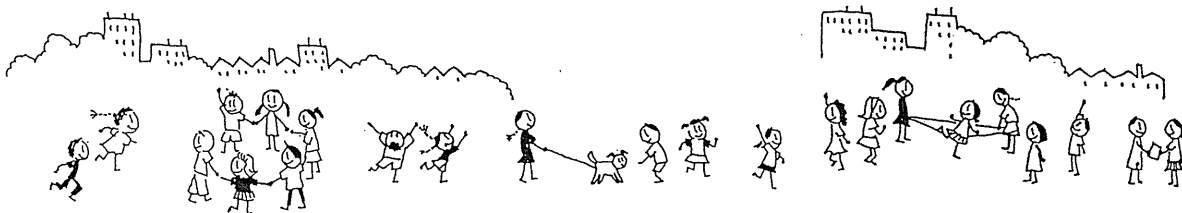
温暖化はなぜ起きるのか、地球にどんな影響をあたえているのか、これを止めるためにわたしたちができることは何か。今、「知って」行動に移そう。

夏の本棚

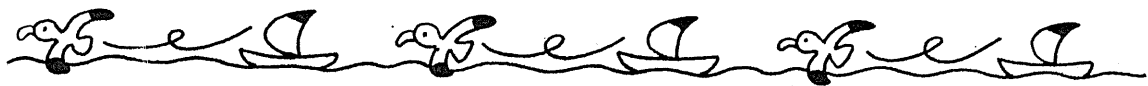
申学生向け



出版社のうしろの番号は、その本が棚のどこにあるかをあらわす番号です。探している本が見つからないときは、図書館の人に聞いてください。



読んでみてのお楽しみ？



生きるって何？死ぬって何？

「夏の庭」 湯本香樹実著

新潮社・徳間書店・福武書店
(K913ユモ・Y913ユモ・
YB913ユモ・BFユモ)

「死んだ人がみたい」そう思った僕たちは、近所にすむおじいさんを見はることにした。ところが、ふとしたことからおじいさんと友達になってしまう。おじいさんと一緒にの夏をすごして、僕たちの気持ちも少しずつ変わってきて…。

「妖怪アパートの幽雅な日常」

香月日輪著 講談社

(K913コウ・Y913コウ)

稲葉タ士は学生寮が全焼し、困っていたところ、格安のアパートを教えてもらう。ところが、うまい話には裏がある。そこは「出る」ところだったのだ！

「カラフル」 森絵都著 理論社・文芸春秋

(K913モリ・BFモリ・Y913モリ)

いいかげんな天使が、一度死んだはずのボクに言った。「おめでとうございます。あなたは抽選にあたりました！」ありがたくも、他人の体にホームステイすることになり、気がつくともボクは小林真になっていた。

好きならとことんやってみろ！

「ビートキッズ」 風野潮作 講談社

(YB913カゼ・Y913カゼ・K913カゼ)

素直で正直もんでほんまにアホ？な主人公横山英治。家庭の事情で、新聞配達のパイトで生活費を稼ぐというなかなかハードな境遇。ところが同級生のクールな菅野七生にいきなりスカウトされ、吹奏楽部のパーカッションをすることに。全編大阪弁のパワフルなストーリー。続編もあり。

「リバウンド」 E・ウォルターズ作 福音館書店

(K933ウ・Y933ウ)

カナダのとある町に住むショーンと、車イスに乗った転校生デーヴィッド。はじめて会ったときからけんかした二人だが、いつのまにか、かけがえのない友達になっていく。バスケットボールが好きな二人の物語。

かわいいしばわんこが和の世界へご案内。

「しばわんこの和のこころ」 川満良枝 絵・文

白泉社 (K386カ・Y386カ)

おちゃめな柴犬の「しばわんこ」とやんちゃな「みけにゃんこ」が案内する「和」の世界。読んであなたも、和の達人をめざしませんか。

「お金もうけは悪いこと？」

アンドリュー・クレメンツ作

講談社 (K933ク)

お金もうけなんて、なんだか欲張りなイメージが強いけど、本当にそうかな？

グレッグは自分で漫画本を作って学校で友達に売ろうとを思いつきます。みんなが喜んで買ってくれる内容にするには？

効率よく沢山作って売るのは？利益をきちんとあげるには？ビジネスってけっこう大変！

「イクバルの闘い」

フランチェスコ・タダモ作

すずき出版 (K973タ)

あたしたちは、じゅうたん工場で朝から晩まで働かされていた。家族とも引き離され学校にも行けず、奴隷のような生活に希望も夢もなかった。あの日、イクバルがやってくるまでは…。